vinetur

フランスが849個のメダルを獲得し、インターナショナル・ワイン・チャレンジで首位に立った

シャンパーニュとブルゴーニュが、2026年のメダルランキングで同国が首位に立つ原動力となった。

2026年9月9日（水）



「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」は水曜日、2026年の「チャンピオン・ワイン」および「チャンピオン・ワインメーカー」を発表した。フランスが最高賞のうち2つを獲得し、総合メダルランキングでも首位に立った一方、アルゼンチン、イタリア、ポルトガルもそれぞれ同コンテストの最高栄誉を1つずつ獲得した。

今年で42回目を迎えるこの年次コンクールでは、アメリカ大陸、アジア太平洋、ヨーロッパ、英国の各地で活動する国際審査員団による数回にわたるブラインドテイスティングを経て、最優秀賞が決定された。金メダル受賞作品はトロフィー審査に進み、その中から選りすぐられた作品が国際チャ

ンピオンの称号を争った。

フランスは、金メダル67個、トロフィー14個を含む計849個のメダルを獲得し、2026年のメダル獲得数ランキングで首位となった。地域別の金メダル獲得数では、シャンパーニュが28個でトップ、ブルゴーニュが26個でそれに続いた。その後、2つのフランス産ワインがチャンピオンタイトルを獲得した。

レア・シャンパーニュの「レア・マグナム　2012」は、スパークリングワイン部門のチャンピオンに選出され、ダニエル・ティボー・トロフィーも受賞した。このシャンパーニュは98点を獲得し、大会で最高得点を記録したワインの一つに名を連ねた。主催者によると、審査員たちはそのバランスの良さ、柑橘系のキャラクター、ヘーゼルナッツのニュアンス、そして長い余韻を高く評価したという。

メゾン・アルベール・ビショの「コルトン・シャルルマーニュ・グラン・クリュ・ドメーヌ・デュ・パヴィヨン 2024」は、「チャンピオン・ホワイトワイン」に選出された。 このブルゴーニュワインは97点を獲得し、同コンクールではすでに「インターナショナル・シャルドネ・トロフィー」、「フランス・ホワイト・トロフィー」、「ホワイト・ブルゴーニュ・トロフィー」、「コルトン・シャルルマーニュ・トロフィー」など、他の複数の賞も受賞していた。

フランスは、個人ワインメーカー賞の一つも獲得した。ブルゴーニュの「ラ・シャブリジエンヌ」のエステル・ロイが「年間最優秀白ワイン醸造家」に選出された。彼女は2024年にも同タイトルを獲得している。大会側によると、ラ・シャブリジエンヌは今年、金メダル3個とトロフィー2個を獲得した。

アルゼンチンは赤ワイン部門の最高賞を獲得した。メンドーサ産の「フエンタラ・ワインズ」の「フエンタラ・カリソ・アルバ・ブロック06・マルベック2023」が97点を獲得し、「チャンピオン・レッド・ワイン」に選出された。 同ワインはすでに、メンドーサ・マルベック・トロフィー、アルゼンチン・マルベック・トロフィー、アルゼンチン・レッド・トロフィーを受賞していた。アルゼンチンは本コンクールで11個の金メダルを獲得し、そのうち10個はメンドーサ産によるものだった。

イタリアが獲得した最高の栄誉は、甘口ワイン部門でのものでした。トスカーナ産のテヌータ・ディ・カペッツァーナの「ヴィンサント・カペッツァーナ・リゼルヴァ 2018」が「チャンピオン・スイート・ワイン」に選出され、「アロイス・クラッハー・トロフィー」を受賞しました。 このワインは97点を獲得した。大会側によると、テヌータ・ディ・カペッツァーナが「チャンピオン・スイート・ワイン」賞を受賞したのはこれで3年連続となる。

また、イタリアは「初醸造年度最優秀ワイン」賞も獲得した。デルブスコ・チヴェスの「フランチャコルタ・パス・ドゼ・エピック　2016」は96点を獲得し、「イタリア・スパークリング・トロフィー」および「フランチャコルタ・トロフィー」も受賞した。 今年は、トスカーナに加え、ピエモンテ、ヴェネト、カンパニア、フランチャコルタが好成績を収めたことで、イタリアは世界メダルランキングで5位から4位に浮上した。

ポルトガルは、「メニン・ポルト・タウニー80アノス」で強化ワイン部門のチャンピオンタイトルを獲得した。このワインは98点を獲得し、「ポート・トロフィー」と「タウニー・ポート・トロ

フィー」の両方を受賞した後、「チャンピオン・フォートファイテッド・ワイン」に選出され、「マヌエル・ロサノ・トロフィー」を授与された。　大会側によると、ポルトガルは2025年のメダルランキングで4位から2026年には3位に浮上し、金メダル獲得率は9％強でした。ドウロ地方は23個の金メダルを獲得し、フランス以外の地域としては最多となりました。

同コンクールの個人ワインメーカー賞は、5カ国および5つのワインスタイルにまたがって授与された。　オーストラリアのタスマニア州にある「ハウス・オブ・アラス」のエド・カー氏は、2度目となる「スパークリング・ワインメーカー・オブ・ザ・イヤー」に選出された。「ハウス・オブ・アラス」は今年4つの金メダルを獲得し、同社の「グラン・ヴィンテージ2017」は96点を獲得して「オーストラリアン・スパークリング・トロフィー」を受賞した。

スペインは個人部門で力強い活躍を見せた。リオハの生産者「ボデガス・オララ」のハビエル・マルティネス・デ・サリナスが「年間最優秀赤ワイン醸造家」に選出された。大会側によると、スペインの醸造家が同賞を受賞するのは今回が初めてだという。　ボデガス・オララは、「オララ・クラシコ・レセルバ2021」と「レシエンテ・レセルバ2021」の金メダルを含め、計19個のメダルを獲得した。

ヘレスのエミリオ・ルスタウ（Emilio Lustau）に所属するスペインのセルヒオ・マルティネス氏は、「年間最優秀強化ワイン醸造家」に7度目、3年連続での選出を果たした。　エミリオ・ルスタウの出品作品は、「アモンティリャード・トロフィー」、「クリーム・シェリー・トロフィー」、「ペドロ・ヒメネス・トロフィー」を獲得した。マルティネス氏は声明の中で、「これは素晴らしい、まさに夢のようです」と述べた。

オーストリアのブルゲンラント州にあるハンス・チダ・アンガーホフのハンス・チダ氏が、「スイート・ワインメーカー・オブ・ザ・イヤー」に選出された。同部門での受賞は6年連続、2010年以降では通算12回目となる。同氏のワインは、2026年のコンクールで金メダル3個とトロフィー1個を獲得した。　チダ氏は、この受賞について、「ワイン造りにおいて一切の妥協をしない」という姿勢が評価されたと語った。

また、インターナショナル・ワイン・チャレンジは、南アフリカのグラハム・ベック（Graham Beck）の創設者であり、セラーマスター兼最高執行責任者（COO）であるピーター・フェレイラ氏に生涯功労賞を授与した。フェレイラ氏は、南アフリカのキャップ・クラシック（Cap Classique）スパークリングワイン業界の発展に大きく貢献した人物として広く知られており、現在は妻のアンと共に、独自のブランド「ピーター・フェレイラ・キャップ・クラシック」のワインを生産している。

フェレイラ氏は、この受賞がキャップ・クラシック業界全体に対する評価でもあると語った。「このカテゴリーを前進させてきた多くのキャップ・クラシック生産者たちの貢献を認めることは重要です」と彼は述べた。　「長年にわたり、信じられないほど懸命に努力してきた才能ある人々が大勢います。私たちは互いに学び合い、互いに刺激し合い、最終的にはこのカテゴリーの品質を高めてきました。」

インターナショナル・ワイン・チャレンジ（IWC）のディレクター、クリス・アシュトン氏は、最優秀賞は同コンペティションの最も厳格な審査段階を反映したものであると述べた。　「受賞した各ワインは、国際的な専門家パネルによる一連の厳格なブラインドテイスティングを経て選ばれま

した。また、各個人賞は、その技術、一貫性、そして献身的な姿勢によって、この分野の最前線に立つワインメーカーたちを称えるものです」とアシュトン氏は語った。

2026年の結果は、このコンクールにおいて最も定評のあるワイン産地の強さを改めて裏付けるものとなりました。シャンパーニュとブルゴーニュがフランスのメダル総数を牽引し、メンドーサがアルゼンチンの金メダル数を独占し、ドウロがポルトガルの成績を牽引し、リオハがスペインの総合メダルランキング2位維持に貢献しました。 スペインの順位に加え、ハビエル・マルティネス・デ・サリナス氏とセルヒオ・マルティネス氏への個人賞により、同国は今年のワインメーカー部門の5つのタイトルのうち2つを獲得した。

同コンクールは、ボトルに貼られるメダルステッカーを通じて消費者に品質の目安を提供するよう、審査システムが設計されていると説明した。現行の形式では、ワインはまず金、銀、銅、または「Commended（推奨）」の評価が与えられる。その後、金メダル受賞作はトロフィーラウンドに進出し、そのラウンドで上位に入った作品が、今週発表された「インターナショナル・チャンピオン」の栄誉を争う。

今年のチャンピオンワインには、スパークリング部門でレア・シャンパーニュの「レア・マグナム2012」、白ワイン部門でメゾン・アルベール・ビショの「コルトン・シャルルマーニュ・グラン・クリュ ドメーヌ・デュ・パヴィヨン 2024」、 赤ワイン部門ではフエンタラ・ワインズの「フエンタラ・カリソ・アルバール・ブロック06・マルベック2023」、甘口ワイン部門ではテヌータ・ディ・カペッツァーナの「ヴィンサント・カペッツァーナ・リゼルヴァ2018」、強化ワイン部門ではメニンの「メニン・ポルト・タウニー80アノス」が選ばれました。 ワインメーカー部門の受賞者は、スパークリング部門がエド・カー、白ワイン部門がエステル・ロイ、赤ワイン部門がハビエル・マルティネス・デ・サリナス、甘口ワイン部門がハンス・チダ、強化ワイン部門がセルジオ・マルティネスでした。